

諏訪湖流域資源循環普及事業（令和5年度）概要

令和5年9月

長野県諏訪地域振興局 環境課

1 趣 旨

諏訪湖の上流域から流入する栄養塩類を吸収した諏訪湖のヒシを堆肥化し、地元小中学校等で利用することにより、流域内で物質循環する枠組みを構築するヒシ活用事例に実際に触れ、自ら使用するという経験により地域住民の「地域の価値を自分たちで磨き高めていく意識」を育てる。

2 実施内容

- ・ 諏訪湖のヒシを活用した堆肥の製造、配布
- ・ 諏訪湖流域における資源循環について解説したポスターの作成、配布

3 企 画

諏訪湖創生ビジョン推進会議

4 堆肥製造

株式会社みのり建設

（諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員）

5 堆肥配布先

諏訪管内の小中学校、養護学校、イベント等で配布

6 堆肥配布数量

諏訪管内小中学校（45校）、養護学校（2校）

：大袋（20L（約7kg））を各校8袋ずつ配布

イベント等で配布：小袋（0.8kg）配布（今年度は管内イベントで4回配布）

7 想定される効果

- ・ 児童、生徒が学校の畑、花壇等での堆肥を利用する体験を通して、諏訪地域の環境保全や資源の地域循環に対する理解が促進される。
- ・ ポスターを教室等に掲示する、授業で活用する等により、諏訪地域の環境保全や資源の地域循環に対する理解が促進される。
- ・ 諏訪湖流域における資源の地域循環について解説したパネル（令和3年度作成）を活用し、イベント等で周知することで、地域住民の環境保全や資源の地域循環に対する関心を高め、地域における活動の促進につなげる。

